

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○		○			

企業の概要

企業・団体名	株式会社データフォーシーズ	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	87名
事業概要	データ解析及びデータサイエンス業務のアウトソーシング / データサイエンティスト、データ解析スペシャリストの派遣 / ビジネスにおけるアナリティカル業務のシステム化企画、実装		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク規定
テレワーク担当部署	運営企画事務局 管理総務グループ
テレワーク対象者	全社
実施者数	71名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 新型コロナウイルスの感染拡大以前の2019年から働き方改革の一環でテレワーク(在宅勤務)制度を導入。
- その前段階として、テレワークを可能にするためGoogle社のGsuiteを導入し、社内情報をクラウドに移行した。
- それによりオフィスにとられない働き方が実現でき、情報の安全性も担保されテレワークの加速を後押しすることができた。
- 導入当時は入社3年以上の役職者や育児・介護を行う社員を主な対象としていたが、新型コロナウイルス感染拡大が深刻化した2020年4月以降は、全社員を対象にテレワークを実施。
- 緊急事態宣言下では、95%以上のテレワーク率を保ち、感染者も0名に抑えることができた。

テレワークの概要・特徴

- テレワーク形態:在宅勤務
- 実施ツール: Web会議ツール(Google Meet)
- 実施頻度: 緊急事態宣言下では95%超、宣言解除下の平常時でも70%の実施率を遵守
- 【**テレワークの活用拡大や定着、効果的な運用のために工夫した点**】
- 新型コロナ感染対策として全社員を対象に以下のルールを適用し、全社的に急速に活用が拡大した。
 - ・ 出社せざるを得ない業務以外は原則在宅勤務とした。
 - ・ 出社する際は「出社申請書」を提出し、上長と管理部門の承認を必要とする。スプレッドシートに出社人数を記載し定員や出社理由を確認しながら運用している。
 - ・ 出社後は「出社報告書」に、体温や体調、立ち入り場所、接触者情報を記載し提出させている。
 - ・ テレワーク時の通信費や環境整備費としてテレワーク手当を全社員に5,000円/月を支給。
 - ・ テレワーク中に常時接続するweb会議を設定し、参加者も週替わりで所属組織ごとに組み合わせているため、全員と顔合わせができるようにしている。
 - ・ 月曜午前は全社会議、火曜～金曜は朝礼をweb会議で行い、各人の近況報告などを行っている。
 - ・ 雑談用のチャットルームを開設し、普段から気軽にコミュニケーションを取れるようにしている。
 - ・ 定期的に1on1でのメンターコミュニケーションを行い、業務上の相談を受けたり、悩みを抱えていないか把握するようにしている。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

【非常時の営業継続】

- コロナ禍、緊急事態宣言下であってもテレワークにより安全且つ安定した営業活動を継続でき、社員、またご家族への感染予防にもつなげることができた。

【働き方の意識変革】

- 働き方の選択肢が増えたことで社員一人ひとりの「働き方改革」「ワークライフバランス」に対する意識が向上した。